

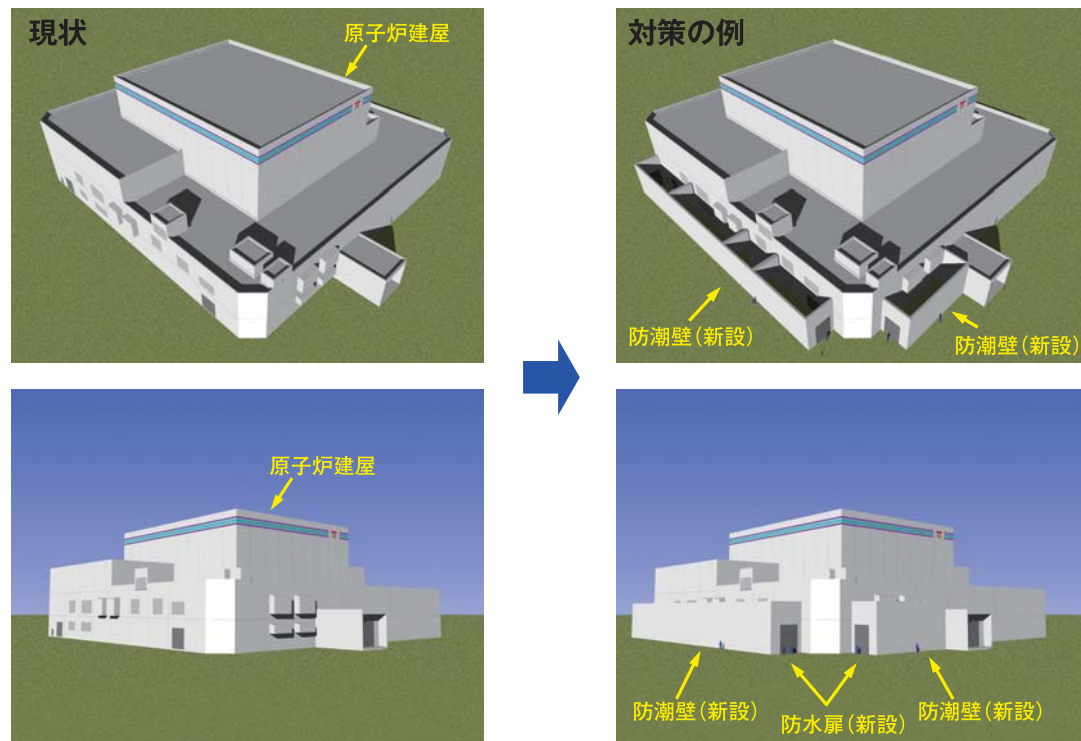
柏崎刈羽原子力発電所では津波への対策を進めています

福島第一原子力発電所における事故、および放射性物質の漏えいにより、地域の皆さまに大変なご心配とご迷惑をおかけしておりますことを心より深くお詫び申し上げます。

柏崎刈羽原子力発電所では、今回の福島第一原子力発電所での事故を踏まえ、これまでの想定よりも大きな津波が来ることを前提に対策を進めています。

原子炉建屋に防潮壁を作ります

想定を超える津波への更なる安全対策として、1～4号機の原子炉建屋に新たに防潮壁を設置します。これにより電源設備や非常用ディーゼル発電機などの安全上重要な設備が設置されている原子炉建屋への津波の浸水を防ぎ、発電所の抜本的な安全性を確保してまいります。



イメージ図

緊急安全対策訓練を行います

新たに配備した設備(例)



消防車



仮設ポンプ



電源車

発電所では、津波対策を検討して電源車や消防車などの配備を進めており、これらを使った「緊急安全対策訓練」を4月11日に行います。

この訓練では、津波によって電源が無くなることや、原子炉および使用済燃料プールを冷やせなくなった場合を想定し、今回配備した設備により、代替電源と代替注水・冷却機能が速やかに確保できることを確認します。

福島第一原子力発電所の事故の状況を分析・評価し、改めて抜本的な対策について検討を行い、更なる安全性の向上を図ってまいります。